

研究機関名：東北大学

受付番号： 2013-1-190
研究課題名 東北大学大学院医学系研究科・医学部における東日本大震災後の学生の状況把握に向けたアンケート調査
研究期間 西暦 2013 年 7 月（倫理委員会承認後）～2018 年 6 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（質問紙調査結果）
上記材料の採取期間 西暦 2013 年 8 月～2018 年 6 月
意義、目的 東北大学医学系研究科・医学部学生厚生委員会と医学教育推進センターでは、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びこれに関連した事項によって、学生に身体的・精神的・経済的に何らかの問題が生じていないか、また、その後に生じ得ないか早期に発見し、必要に応じて対応するための質問紙調査を行った。調査開始初期段階においては、学生の周辺状況の把握につとめることを目的とし、公開資料や学会発表等にデータを用いることは計画していなかった。しかし、その後 3 回の追跡調査から、災害が及ぼす学生の環境への影響が多大であることが認められ、今後も継続して調査することが学生支援にとって重要であると考えられた。また、今回の大規模災害という稀有の事象について蓄積されたデータは、極めて貴重なものであり、今後の災害への教訓として活用できる可能性があるものとする。 この研究では、被災当時の場所や状況、家族の被災状況、被災後の生活、ボランティア参加、身体的・精神的不調の有無、相談希望の有無を基礎資料とし、被災後の経時的な状況や体調の変化を調べる。この研究の結果は、被災者の環境の変化を理解するとともに、災害時における支援者のストレス反応を把握することで、今後の災害医学に寄与するものとする。
方法 平成 23 年度以降、東北大学大学院医学系研究科・医学部に在籍している学生に対し、質問紙による調査を行い、研究協力に同意した方を対象として連結可能匿名化して後ろ向き研究を開始した（2013-1-003）。平成 23 年 4 月より開始した初回調査では、被災当時の場所や状況、家族の被災状況、被災後の生活、ボランティア参加、身体的・精神的不調の有無、相談希望の有無を中心に質問項目を設け、第 2 回以降の追跡調査では、初回の質問項目に加え、経時的な状況の変化を把握できるように質問項目を設けた。これらの結果から、継続的な調査を行い、学生を支援する必要性が認められた。今後も継続的な調査を行うこととするが、今回は前向き研究として申請し、今後の状況の変化を把握することとする。 なお、後日同意を撤回する場合の手続きについては医学部の HP に掲載する。
問い合わせ・苦情等の窓口 医学教育推進センター（717-8508） 医学部・医学系研究科教務室（717-8008）